



門松とは...



※門松を船に見立て前の年の厄を清め、松の内の6日までにそれに乗せて、7日中に下げ新年に向かうのが決まっています

梅は、冬の間はつぼみの状態でじつと寒さに耐え、春に花を咲かせます
「どんなに辛い出来事も頑張り乗り越え、その事が実となり花開く」という意味があります
(❖通常は花が咲いてから実がなります)

松は、針葉樹で寒さに強くほぼ年中緑を保っています
「神様が宿る木」と言われ、古来より新しい神様が伝って地上に降りてくる目印とされています

杉の枝は、昔から線香の材料として使われ、清められてきました



南天は、
「難を良い方へ転ずる」という願いがあります

竹は、節という支えがあってこそ真っ直ぐに高く伸びることができます
「どんなに厳しい状態でも人生を真っ直ぐ進み、無事健康に節目を迎えられますように」という意味があり、長寿の象徴とされています

12月28日頃までに飾ることが望ましい
12月29日は「苦」につながるのを避ける
12月31日も「一夜飾り」になるので避ける